

12月15日(月)

神様の抱擁

聖書朗読 詩編 18:30~36

彼は私の足を雌鹿のようにし、私を高い所に立たせてくださる。 詩編 18:33

今日から仕事に就き、初めての経験が始まります。復職したのは自分の選択というよりも、そうせざるを得ない必要に迫られてのことです。実は、この2年間は毎日が初めて体験すること連続でした。なぜなら、この2年間、「未亡人」として生きることを学んでいるからです。「未亡人」という不安な呼び名を自分で選んだわけではありませんが、自分の人生と何とか折り合いをつけるように学ぶことは、私を孤独の学校に連れて来しました。

しかし、私は神様がいてくださること、神様は私の話に耳を傾けてくださること、御手で私を抱きしめてくださること、そして、私の涙を1粒ずつ受け止めてくださることを覚えます。神様はご自身が頼るべき友であり、主であることを証明されます。神様に従うなら、私は成長し続けます。私が新しい仕事に向かう今日、神様はともにいてくださいます。私は学び、成長し、神様に抱き頼み続けます。なぜなら、神様は私とともにいてくださり、私の新しい人生と新しい仕事のご計画をお持ちでいらっしゃるからです。

神様にご栄光を帰します。

父親のように神様は私たちの世話をしてくださり、労をとってくださいます。

神様は私たちの弱さをご存じで

御手で私たちを優しく支えてくださり、

すべての敵から救ってくださいます。

ハレルヤ! ハレルヤ!

主の御恵みは溢れんばかりに広がります。

—————ヘンリー・フランシス・ライト

讃美歌 291

祈り お父様。誠にあなたはわが巖、わが導き、優しい羊飼いです。あなたのご臨在を示してくれる涙にさえ感謝します。あなたの真実と、私たちの必要を満たしてくださいすることに頭をたれます。

イエス様の御名において。アーメン。

ロンダ・バークハート
テキサス州 ヒルズボロ

今日の力

2014年 12月15日~12月21日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月16日(火)

悲しむ者の幸い

聖書朗読 詩篇 16:1, 7~11

悲しむ者は幸いです。その人は慰められるからです。

マタイ 5 : 4

今日の聖句の中で、ダビデは母親の死に涙しながら、応えていただけない祈りを友や兄弟の死を経験した悲しみと比べています。神様をお願いごとをする人は遅かれ早かれみんな、強い願いがかなえられそうもないときに、見捨てられたような感じを体験するものです。

しかし、山上の垂訓において、イエス様は悲しむ者は慰められるとお話になります。

さらにさかのぼると、賢者ソロモン王は『祝宴の家に行くよりは、喪中に行くほうがよい。』（伝道者の書7：2）と語っています。

願いがくじかれたことを嘆き悲しみながら家で過ごすことになり、神様がそのままにされたからといって、「もうだめだ」とどうして思うのでしょうか？ そんなときこそ、まさに神様を覚えることを教え、神様に抛り頼むことを悟る状況ではありませんか？ 羊飼いに委ねるということの意味を、私たちが本当に理解するのは、一時的に自分が見すてられたと感じるときではないでしょうか？

悲しみに耐える強さと、悲しみという神様の御恵みのうちある家にとどまるための時間を正しく理解する知恵を与えてください。

讚美歌 396

祈り お父様。悲しみというあなたの聖なる家から学ぶべきことを知り、そこで過ごす時間を大切にする分別を持つことができますようにお祈りします。

イエス様の御名において。アーメン。

カイ・バーナム・エヴァンス
テキサス州 ラボック

12月17日(水)

正しい礼拝

聖書朗読 詩篇 50:14~23

主が、ことごとく私に良くしてくださったことについて、私は主に何をお返ししようか。

詩篇 116 : 12

アフリカ人の友人は、何の難しさもなく感謝の気持ちを表現します。「ありがとう」という言葉が、会話の中で頻繁に登場します。ですから、私が友人に「マンゴーのおすそ分け、どうもありがとう」と言ったとき、彼女が「いいのよ、大したことじゃないわ。『ありがとう』って言うてくれて、どうもありがとう」と答えても、特に驚いたりしません。

詩篇50篇において、神様はご自身は飢えることがいないことを、また仮りに飢えておられたとしても、そのことを誰にも告げる必要がないと語られています。なぜなら、すべての家畜とすべての良いものは神様のものだからです。ですから、神様は雄牛や雄やぎのいけにえはお求めになられませんが、感謝のいけにえをささげるようにと言われます。

しかし、礼拝では感謝のささげものはあとの方になっています。私たちには神様が必要なのです。それだけなのです。私たちが神様からいただくものは、ささげものによって増えたり減ったりするものではありません。すべての良いこと、神様からいただいたすべての助けは、神様の終わりのない慈しみによるものです。神様は、日々賜物を私たちに下さることを心から望んでくださっているのです。

詩篇 50 篇における神様に従って、苦難の日に神様を呼び求めて、感謝をささげ、正しく礼拝しましょう。私たちは今すぐ何をすべきですか？ 神様は聞いていらっしゃると思います。今週、神様があなたにくださったことを1つ、2つ、ちょっと考えてみましょう。あなたは、感謝をおささげしましたか？

御恵みをいただく前にお祈りするとよりも、
いただいた御恵みを感謝することの方が大切です。

——ウィリアム・テンプル

讚美歌 338

祈り 親愛なる主よ。日々、私を助けてくださることを感謝します。私の身の回りであなたがくださるすべてのことを見ることができるよう、私の目を開いてください。そして、それを見た私は、感謝のささげものを喜んでささげます。

イエス様の御名において。アーメン。

イアン・K・シェルバーン
テキサス州 アビリン

12月18日(木)

心 臓 移 植

聖書朗読 詩篇 51編

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3：16

心臓移植では、病気の心臓は移植後すべてがちゃんと機能する心臓と交換されます。新しい心臓はドナーからの贈り物であり、いのちをもたらしてくれます。

このことをダビデが嘆願した「きよい心」と関連づけて考えてみましょう。ダビデの姦淫と殺人の罪を考えると、あるいは、私のなかにある心配、言い訳、うぬぼれ、忘恩の罪などを考えると、私は神様と聖霊だけが私の中に生み出すことのできる新しい心を、心から望み、必要とします。

医学的な心臓移植の場合は、一人の人が生きるために、1つのいのちが失われます。私の壊れたところに、あるお方はご自身のすべてをくださったのです。壊れたそして後悔している心を再生してくださった神様に、私は自分を開くべきです。

主よ。私のいのちをお取りくださり、すべてあなたのものにしてください。

私の貧しい心をあなたの大きい愛で満たしてください。

わたしのすべての意思、感情、プライドをお取りください。

主よ。今、私はあなたに従います。私の中にとどまってください。

———— J・エドウィン・オアー

讃美歌 第二編 99

祈 り 親愛なるお父様。あなたのことをもっとよく知る必要があることがわかりました。あなたの愛なる犠牲を受け入れ、キリストのお心を持つことができるように、あなたのことをもっとよく知りたいという願いを私の中にもたらししてください。

アニータ・ブライス
テキサス州 ラボック

12月19日(金)

騒 が し い 隣 人

聖書朗読 詩篇 65編

地の果て果てに住む者もあなたの数々のしるしを恐れます。あなたは、朝と夕べの起こる所を、高らかに歌うようにされます。

詩編 65：8

新しい隣人ができました。そして、なんと彼は騒がしいのです。夜明けとともに、彼は騒がしくなります。夕暮れ時、さらにうるさくなります。午後8時、少しもスローダウンしません。でも騒音を聞いたたびに、私は微笑みたくなります。もうおわかりですか？ 新しい隣人とはマネシツグミ（モッキングバード、物まね鳥）なのです。彼の中には歌がいっぱいあって、それを全部、外に出してしまわないと気が済まないようです。彼の歌はバラエティー豊かで、マンネリ化しません。それはお活気に満ち、喜びにあふれています。歌うことに熱中するマネシツグミは、クリスチャン生活の素晴らしい比喻です。

私たちが喜びでいっぱいなら、歌が溢れ出していますか？ 神様をたたえずにはいられないので、絶えず神様を讃美していますか？ 神様は私たちの讃美の歌を聞いてくださいます。神様は私たちの喜びと悲しみをご存じであり、私たちの働きをご覧になり、私たちがベストを尽くそうとすると、それをわかってくださいます。神様は、その歌を聞くすべての人が楽しめるようにとマネシツグミを創造されました。

神様はご自身の豊かさを私たちと分け合い、私たちの心が讃美で満ち溢れ、神様がとどまってくくださる喜びで満たされることを望んでいらっしゃいます。

マネシツグミの歌を聞きましょう。喜びの歌とすべてのものを創造された愛なる神様への讃美がここに満ち溢れるまで、マネシツグミの歌を聞きましょう。

讃美歌 28

祈 り 親愛なる神様。あなたの御名はなんと荘厳なのでしょう。あなたの素晴らしい創造と私たちがあなたのうちにとどまるときに与えてくださいます喜びに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

リンディー・ベル
テキサス州 プラノ

12月20日(土)

こ の 家

聖書朗読 詩篇 84:1~11

幸いなことよ。あなたが選び、近寄せられた人、あなたの大庭に住む人は。私たちは、あなたの家、あなたの聖なる宮の良いもので満ち足りるでしょう。 詩篇 65:4

神様の家には愛、喜び、平安があります。神様の家は私たち自身のからだであり、神様がそこにお住みになっています。神様の家には、ひとつ屋根の下に主(あるじ)でいらっしゃる主を礼拝する信者が集まります。

この家は信じる者を守る子羊の血の中で洗われ、それは戸口の側柱の上にまき散らされた血のようです。この家はやぐらであり避け所であるので、ご栄光の王はここを治められます。

御子の光が絶えず輝いているので、この家は輝きで満ちています。この家は聖霊の御力としっかりと結びつき、愛の腕(かいな)とともに開かれた扉があります。ほかの家は次第に崩れていきますが、この家は堅牢で安全です。なぜなら神が主(あるじ)だからです。この家は神様の真実で固められています。この家は永遠の住まいです。なぜならこの家を取り壊すものは存在しないからです。

教会の礎は、教会の主であるイエス・キリストです。教会は、水とみことばによる主の新たな創造です。天国から主が来られ、主の聖なる花嫁になるよう求められます。主ご自身の血をもって教会を贖い、そして教会のために主は死なれました。
——— サミュエル・J・ストーン

讃美歌 482

祈り 親愛なる主よ。土でできた教会に住んでくださり、ありがとうございます。この束の間の土の器において、あなたをたたえることに励むことができますように。決してあなたを悲しませることがありませんように。私たちのすべての日において、あなたをたたえ、あなたにお仕えできますように。

イエス様の美しい御名において。アーメン。

ジョーン・クレイトン

ニューメキシコ州 クロービス

12月21日(日)

心 を 一 つ に

聖書朗読 詩篇 86篇

主よ。あなたの道を私に教えてください。私はあなたの真理のうちに歩みます。私の心を一つにしてください。御名を恐れるように。 詩篇 86:11

integrity という言葉には2つの意味があります。1つめは「正直さや高潔さ」であり、こういった性質を持っていることは素晴らしいことです。2つめは「完全無欠であること」です。これもいい性質です。実際、ある意味では、この2つの意味はほとんど同じと言っていいでしょう。

私たちは神様にも、人にも誠実でありたいと思います。そして自分自身に対しても。自分は正直だと言いいにくくなるのはイヤですから、私たちは自分の正直さ=integrity を維持します。

また、私たちは人を欺きたくはありません。人を欺きたいと思うことさえイヤです。友人には誠実でありたいと思います。自分が他の人に引き寄せられたと感じることも望みません。私たちは神様を愛したいと望んでいるので、どれほど価値があっても、私たちにコースを外れさせて引き寄せるものは望みません。

Integrity=正直さと完全無欠であることは、根本となる徳です。これによって、私たちは自分がどのような者であるかが決まり、正直さ、ひたむきさ、完全さなどを持った最善の自分がつくられます。

讃美歌 第二編 173

祈り 御在天のお父様。私の神様でいてくださり、最善の自分であるように私を促してくださり、ありがとうございます。あらゆることにおいて、また人とのすべての関係において、みこころを行ないたいと私が思えるように助けてください。みこころに反する考えや願望によって動揺したり、板挟みになったりして迷うことがありませんように。

イエス様の御名において。アーメン。

ビリー・シルベイ

カリフォルニア州 カルヴァーシティ